

運用報告書 (全体版)

高金利通貨ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	世界各国の公社債。
運用方法	主としてグローバル高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、国際機関債や政府機関債、州政府債を中心とする信用力の高い公社債に実質的に分散投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。公社債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
組入制限	当ファンドのグローバル高金利通貨マザーファンド組入上限比率	制限なし。
	グローバル高金利通貨マザーファンドの株式組入上限比率	転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を基礎として安定した分配を行うことを目標と決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。上記にかかわらず、上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第137期	<決算日	2019年10月8日>
第138期	<決算日	2019年11月8日>
第139期	<決算日	2019年12月9日>
第140期	<決算日	2020年1月8日>
第141期	<決算日	2020年2月10日>
第142期	<決算日	2020年3月9日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利通貨ファンド」は、2020年3月9日に第142期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

高金利通貨ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基 準 額 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額 総
			税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率			
第20作成期	113期(2017年10月10日)	円 4,883	円 20	% 0.0	% 95.0	% -	百万円 6,929	
	114期(2017年11月8日)	4,825	20	△0.8	95.1	-	6,770	
	115期(2017年12月8日)	4,838	20	0.7	95.3	-	6,708	
	116期(2018年1月9日)	4,991	20	3.6	94.9	-	6,821	
	117期(2018年2月8日)	4,832	20	△2.8	96.1	-	6,540	
	118期(2018年3月8日)	4,713	20	△2.0	95.8	-	6,334	
第21作成期	119期(2018年4月9日)	4,676	20	△0.4	95.1	-	6,226	
	120期(2018年5月8日)	4,522	20	△2.9	96.2	-	5,974	
	121期(2018年6月8日)	4,435	20	△1.5	95.0	-	5,790	
	122期(2018年7月9日)	4,424	20	0.2	96.0	-	5,718	
	123期(2018年8月8日)	4,422	20	0.4	95.6	-	5,651	
	124期(2018年9月10日)	4,066	20	△7.6	95.7	-	5,153	
第22作成期	125期(2018年10月9日)	4,202	20	3.8	95.4	-	5,267	
	126期(2018年11月8日)	4,388	20	4.9	95.3	-	5,466	
	127期(2018年12月10日)	4,313	20	△1.3	95.3	-	5,326	
	128期(2019年1月8日)	4,249	20	△1.0	95.4	-	5,178	
	129期(2019年2月8日)	4,330	20	2.4	95.7	-	5,253	
	130期(2019年3月8日)	4,305	20	△0.1	95.2	-	5,192	
第23作成期	131期(2019年4月8日)	4,328	20	1.0	95.2	-	5,195	
	132期(2019年5月8日)	4,187	20	△2.8	95.3	-	4,991	
	133期(2019年6月10日)	4,196	20	0.7	95.2	-	4,938	
	134期(2019年7月8日)	4,284	20	2.6	94.6	-	5,002	
	135期(2019年8月8日)	4,120	20	△3.4	94.8	-	4,776	
	136期(2019年9月9日)	4,122	20	0.5	93.9	-	4,741	
第24作成期	137期(2019年10月8日)	4,125	20	0.6	94.6	-	4,710	
	138期(2019年11月8日)	4,303	20	4.8	95.3	-	4,869	
	139期(2019年12月9日)	4,251	20	△0.7	95.2	-	4,783	
	140期(2020年1月8日)	4,248	20	0.4	95.4	-	4,738	
	141期(2020年2月10日)	4,262	20	0.8	95.3	-	4,586	
	142期(2020年3月9日)	3,774	20	△11.0	95.7	-	4,022	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率	率		
第137期	(期首) 2019年9月9日	円 4,122	% -	% 93.9	% -
	9 月 末	4,160	0.9	94.0	-
	(期末) 2019年10月8日	4,145	0.6	94.6	-
第138期	(期首) 2019年10月8日	4,125	-	94.6	-
	10 月 末	4,309	4.5	95.9	-
	(期末) 2019年11月8日	4,323	4.8	95.3	-
第139期	(期首) 2019年11月8日	4,303	-	95.3	-
	11 月 末	4,267	△0.8	95.3	-
	(期末) 2019年12月9日	4,271	△0.7	95.2	-
第140期	(期首) 2019年12月9日	4,251	-	95.2	-
	12 月 末	4,364	2.7	94.9	-
	(期末) 2020年1月8日	4,268	0.4	95.4	-
第141期	(期首) 2020年1月8日	4,248	-	95.4	-
	1 月 末	4,289	1.0	94.9	-
	(期末) 2020年2月10日	4,282	0.8	95.3	-
第142期	(期首) 2020年2月10日	4,262	-	95.3	-
	2 月 末	4,137	△2.9	95.6	-
	(期末) 2020年3月9日	3,794	△11.0	95.7	-

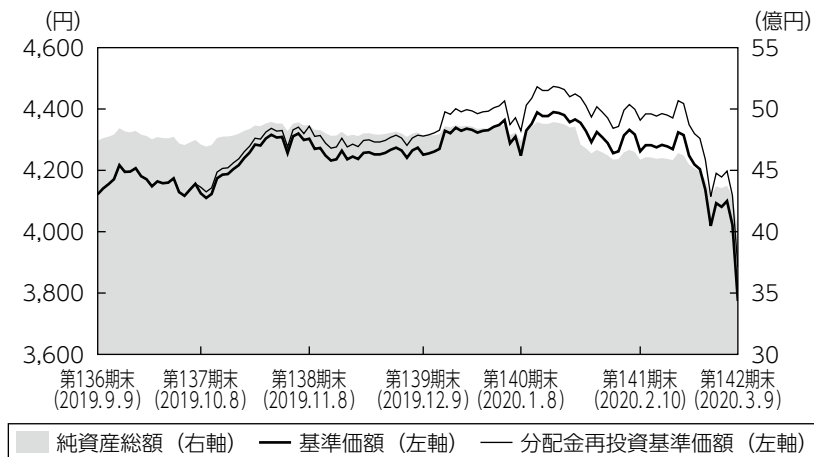
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■第137期～第142期の運用経過（2019年9月10日から2020年3月9日まで）

基準価額等の推移



第137期首： 4,122円
 第142期末： 3,774円
 （既払分配金120円）
 騰落率： △5.8%
 （分配金再投資ベース）

- 純資産総額（右軸） — 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸）
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

投資国の中央銀行が緩和的な金融政策を維持する中、債券利回りが低下（価格は上昇）したことなどは基準価額の上昇要因となりました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や、OPEC（石油輸出国機構）とロシアによる協調減産の枠組み崩壊による原油価格の急落などを受けて市場のリスク許容度が低下する中、投資国の通貨が対円で下落したことなどは基準価額の下落要因となりました。

投資環境

債券市場では、世界景気の鈍化懸念などを背景にF R B（米連邦準備理事会）が政策金利を引き下げるなど、主要国中央銀行は緩和的な金融政策を維持したことなどから、世界的に債券市場には金利低下（価格上昇）圧力がかかりました。投資国でも政策金利を引き下げる国が相次いだことなどから、債券利回りは全般に低下しました。

為替市場では、米中が部分合意に達するとの期待や英国のE U離脱に対しても秩序だったものになるとの思惑から投資国の通貨は堅調な推移を見せたものの、当作成期間末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念やO P E Cとロシアによる協調減産の枠組みが崩壊したことで原油価格も急落したことなどを背景に、市場のリスク許容度が急速に低下したことなどから、投資国の通貨は下落に転じました。

ポートフォリオについて

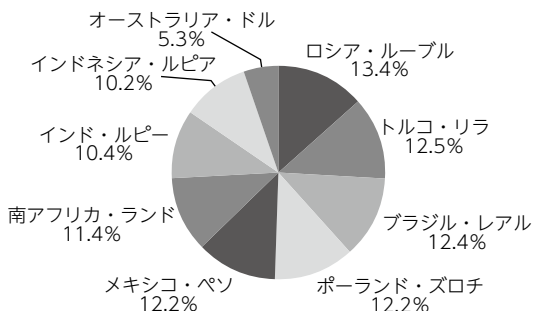
●当ファンド

当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドの組入比率を作成期を通じて高位に維持しました。

●グローバル高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用では、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、市場動向等を睨みながら適宜比率の調整を行いました。

グローバル高金利通貨マザーファンドの債券通貨別構成比（当作成期末）



※比率は、組入債券全体に対する評価額の割合です。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2019年9月10日 ～2019年10月8日	2019年10月9日 ～2019年11月8日	2019年11月9日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月8日	2020年1月9日 ～2020年2月10日	2020年2月11日 ～2020年3月9日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.48%	0.46%	0.47%	0.47%	0.47%	0.53%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	588円	597円	601円	604円	611円	611円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続き当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドを通じて実質的な運用を行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●グローバル高金利通貨マザーファンド

新興国債券・為替市場は、世界的な経済成長率の低下が懸念されることなどから、相対的にリスク要因の少ない新興国を中心に投資妙味があると見ています。また、米国や欧州圏、中国の経済動向およびそれに伴う金融政策に影響を受けやすい展開を想定しています。今後とも組入対象国を中心とした新興国の経済情勢や投資環境の変化に留意しつつ、相対的にファンダメンタルズの良好な国を中心に機動的な運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期 (2019年9月10日 ～2020年3月9日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	23円	
(投信会社)	(10)	(0.245)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(12)	(0.272)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.026)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.008)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	24	0.554	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

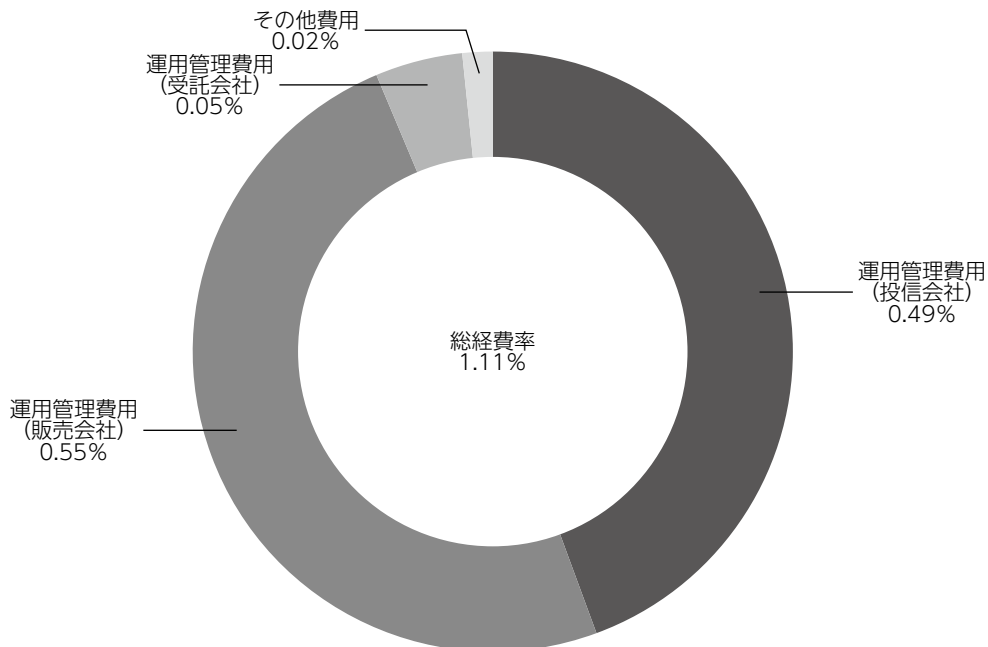
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年9月10日から2020年3月9日まで）

	第 137 期 ~ 第 142 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 421,414	千円 488,000

■利害関係人との取引状況等（2019年9月10日から2020年3月9日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	第 23 作 成 期 末	第 24 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ 4,277,097	千□ 3,855,683	千円 4,002,584

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	第 24 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル高金利通貨マザーファンド	千円 4,002,584	% 98.8
コール・ローン等、その他	49,569	1.2
投資信託財産総額	4,052,154	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末のグローバル高金利通貨マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、4,005,147千円、99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年3月9日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=67.44円、1トルコ・リラ=16.71円、1メキシコ・ペソ=4.87円、1インド・ルピー=1.39円、100インドネシア・ルピア=0.72円、1ブラジル・レアル=22.05円、1ロシア・ルーブル=1.43円、1南アフリカ・ランド=6.36円、1ポーランド・ズロチ=26.86円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月8日)、(2019年11月8日)、(2019年12月9日)、(2020年1月8日)、(2020年2月10日)、(2020年3月9日)現在

項 目	第 137 期 末	第 138 期 末	第 139 期 末	第 140 期 末	第 141 期 末	第 142 期 末
(A) 資 産	4,741,925,552円	4,898,736,247円	4,811,328,188円	4,772,636,426円	4,617,600,133円	4,052,154,796円
コール・ローン等	103,137,915	85,567,518	59,556,125	37,470,163	84,962,316	49,569,869
グローバル高金利通貨マザーファンド(評価額)	4,638,787,637	4,813,168,729	4,751,772,063	4,725,166,263	4,532,637,817	4,002,584,927
未 収 入 金	-	-	-	10,000,000	-	-
(B) 負 債	31,246,643	29,698,533	28,047,404	34,382,465	31,101,593	30,066,880
未払収益分配金	22,839,383	22,632,028	22,503,521	22,309,819	21,524,616	21,314,728
未払解約金	4,284,061	2,564,123	1,050,421	7,686,989	4,846,865	4,948,084
未払信託報酬	4,108,751	4,486,603	4,477,718	4,370,343	4,714,383	3,791,419
その他未払費用	14,448	15,779	15,744	15,314	15,729	12,649
(C) 純資産総額(A-B)	4,710,678,909	4,869,037,714	4,783,280,784	4,738,253,961	4,586,498,540	4,022,087,916
元 本	11,419,691,713	11,316,014,439	11,251,760,758	11,154,909,837	10,762,308,385	10,657,364,200
次期繰越損益金	△6,709,012,804	△6,446,976,725	△6,468,479,974	△6,416,655,876	△6,175,809,845	△6,635,276,284
(D) 受益権総口数	11,419,691,713口	11,316,014,439口	11,251,760,758口	11,154,909,837口	10,762,308,385口	10,657,364,200口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,125円	4,303円	4,251円	4,248円	4,262円	3,774円

(注) 第136期末における元本額は11,503,329,695円、当作成期間(第137期～第142期)中における追加設定元本額は29,297,881円、同解約元本額は875,263,376円です。

■損益の状況

〔自 2019年 9月10日 至 2019年10月 8日〕〔自 2019年10月 9日 至 2019年11月 8日〕〔自 2019年11月 9日 至 2019年12月 9日〕〔自 2019年12月10日 至 2020年 1月 8日〕〔自 2020年 1月 9日 至 2020年 2月10日〕〔自 2020年 2月11日 至 2020年 3月 9日〕

項 目	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期
(A) 配 当 等 収 益	△2,243円	△1,751円	△2,339円	△1,839円	△1,215円	△831円
受 取 利 息	6	5	6	4	12	2
支 払 利 息	△2,249	△1,756	△2,345	△1,843	△1,227	△833
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	30,304,774	228,254,500	△31,055,541	22,840,242	41,238,519	△494,565,756
売 買 益	30,688,590	229,388,898	298,455	23,394,200	45,471,554	623,388
売 買 損	△383,816	△1,134,398	△31,353,996	△553,958	△4,233,035	△495,189,144
(C) 信 託 報 酬 等	△4,123,199	△4,502,382	△4,493,462	△4,385,657	△4,730,112	△3,804,068
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	26,179,332	223,750,367	△35,551,342	18,452,746	36,507,192	△498,370,655
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,737,941,736	△2,709,033,379	△2,491,082,938	△2,526,309,366	△2,439,969,834	△2,400,756,960
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,974,411,017	△3,939,061,685	△3,919,342,173	△3,886,489,437	△3,750,822,587	△3,714,833,941
(配 当 等 相 当 額)	(27,477,889)	(27,408,490)	(27,929,356)	(27,937,349)	(27,248,266)	(27,145,101)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△4,001,888,906)	(△3,966,470,175)	(△3,947,271,529)	(△3,914,426,786)	(△3,778,070,853)	(△3,741,979,042)
(G) 合 計 (D + E + F)	△6,686,173,421	△6,424,344,697	△6,445,976,453	△6,394,346,057	△6,154,285,229	△6,613,961,556
(H) 収 益 分 配 金	△22,839,383	△22,632,028	△22,503,521	△22,309,819	△21,524,616	△21,314,728
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△6,709,012,804	△6,446,976,725	△6,468,479,974	△6,416,655,876	△6,175,809,845	△6,635,276,284
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,974,411,017	△3,939,061,685	△3,919,342,173	△3,886,489,437	△3,750,822,587	△3,714,833,941
(配 当 等 相 当 額)	(27,483,087)	(27,415,028)	(27,952,174)	(27,940,041)	(27,258,996)	(27,149,151)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△4,001,894,104)	(△3,966,476,713)	(△3,947,294,347)	(△3,914,429,478)	(△3,778,081,583)	(△3,741,983,092)
分 配 準 備 積 立 金	644,849,534	648,247,707	649,172,034	646,653,887	630,409,797	624,414,600
繰 越 損 益 金	△3,379,451,321	△3,156,162,747	△3,198,309,835	△3,176,820,326	△3,055,397,055	△3,544,856,943

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期
(a) 経費控除後の配当等収益	26,226,294円	32,059,518円	27,778,623円	25,605,237円	28,332,761円	21,618,542円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	27,483,087	27,415,028	27,952,174	27,940,041	27,258,996	27,149,151
(d) 分 配 準 備 積 立 金	641,462,623	638,820,217	643,896,932	643,358,469	623,601,652	624,110,786
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	695,172,004	698,294,763	699,627,729	696,903,747	679,193,409	672,878,479
(f) 1万口当たり当期分配対象額	608.75	617.09	621.79	624.75	631.09	631.37
(g) 分 配 金	22,839,383	22,632,028	22,503,521	22,309,819	21,524,616	21,314,728
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

グローバル高金利通貨マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2020年3月9日）

（計算期間 2019年3月9日～2020年3月9日）

グローバル高金利通貨マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の公社債。
主な組入制限	株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		期騰	落中率			
8期（2016年3月8日）	円		%	%	%	百万円
	10,043	△11.7		94.8	—	7,889
9期（2017年3月8日）	11,091	10.4		96.4	—	7,346
10期（2018年3月8日）	11,354	2.4		96.4	—	6,304
11期（2019年3月8日）	11,060	△2.6		96.0	—	5,157
12期（2020年3月9日）	10,381	△6.1		96.1	—	4,012

（注1）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

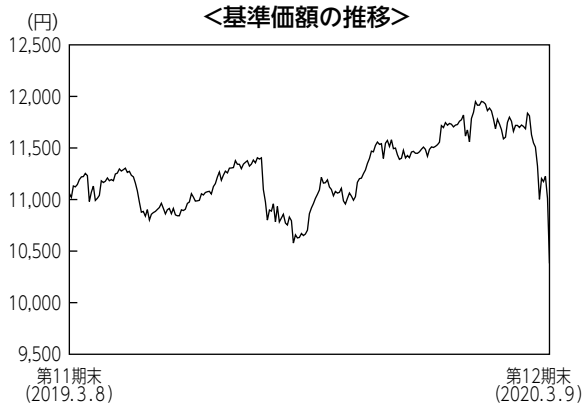
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
		騰	落		
(期 首) 2019 年 3 月 8 日	円 11,060	% -		% 96.0	% -
3 月 末	11,013	△0.4		92.3	-
4 月 末	11,085	0.2		95.9	-
5 月 末	10,852	△1.9		95.0	-
6 月 末	11,155	0.9		95.2	-
7 月 末	11,393	3.0		94.7	-
8 月 末	10,671	△3.5		95.0	-
9 月 末	11,070	0.1		94.6	-
10 月 末	11,541	4.3		96.5	-
11 月 末	11,489	3.9		96.0	-
12 月 末	11,820	6.9		95.6	-
2020 年 1 月 末	11,678	5.6		95.7	-
2 月 末	11,325	2.4		96.0	-
(期 末) 2020 年 3 月 9 日	10,381	△6.1		96.1	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2019年3月9日から2020年3月9日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は10,381円となり、前期末比で6.14%下落しました。

基準価額の主な変動要因

投資国の中央銀行が緩和的な金融政策を維持する中、債券利回りが低下（価格は上昇）したことなどは基準価額の上昇要因となりました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や、OPEC（石油輸出国機構）とロシアによる協調減産の枠組み崩壊による原油価格の急落などを受けて市場のリスク許容度が低下する中、投資国の通貨が対円で下落したことなどは基準価額の下落要因となりました。

投資環境

債券市場では、世界景気の鈍化懸念などを背景にF R B（米連邦準備理事会）が政策金利を引き下げるなど、主要国中央銀行は緩和的な金融政策を維持したことなどから、世界的に債券市場には金利低下（価格上昇）圧力がかかりました。投資国でも政策金利を引き下げる国が相次いだことなどから、債券利回りは全般に低下しました。

為替市場では、市場のリスク要因を睨みながら概ねレンジ内での推移したものの、当期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念やOPECとロシアによる協調減産の枠組みが崩壊したことで原油価格も急落したことなどを背景に、市場のリスク許容度が急速に低下したことなどから、投資国の通貨は下落しました。

ポートフォリオについて

ポートフォリオについては、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、市場動向等を睨みながら適宜比率の調整を行いました。当期間ではEU離脱に伴う不透明感が高まっていたことなどから、英国の組入れを解消しました。

今後の運用方針

新興国債券・為替市場は、世界的な経済成長率の低下が懸念されることなどから、相対的にリスク要因の少ない新興国を中心に投資妙味があると見ています。また、米国や欧州圏、中国の経済動向およびそれに伴う金融政策に影響を受けやすい展開を想定しています。今後とも組入対象国を中心とした新興国の経済情勢や投資環境の変化に留意しつつ、相対的にファンダメンタルズの良好な国を中心に機動的な運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2円 (2) (0)	0.015% (0.015) (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.015	
期中の平均基準価額は11,262円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2019年3月9日から2020年3月9日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	オーストラリア	特 殊 債 券	千オーストラリア・ドル -	千オーストラリア・ドル 2,107 (-)
	イギリス	特 殊 債 券	千イギリス・ポンド -	千イギリス・ポンド 2,118 (-)
	トルコ	特 殊 債 券	千トルコ・リラ 18,372	千トルコ・リラ 10,154 (8,830)
	メキシコ	特 殊 債 券	千メキシコ・ペソ 38,954	千メキシコ・ペソ 58,817 (-)
	インド	特 殊 債 券	千インド・ルピー 247,331	千インド・ルピー 226,594 (-)
	インドネシア	特 殊 債 券	千インドネシア・ルピア 33,563,600	千インドネシア・ルピア 10,566,289 (22,500,000)
	ブラジル	特 殊 債 券	千ブラジル・リアル 16,663	千ブラジル・リアル 18,239 (-)
	ロシア	特 殊 債 券	千ロシア・ルーブル 180,267	千ロシア・ルーブル 197,648 (-)
	国	南アフリカ	特 殊 債 券	千南アフリカ・ランド 31,091
ポーランド		特 殊 債 券	千ポーランド・ズロチ 13,805	千ポーランド・ズロチ 7,250 (-)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年3月9日から2020年3月9日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 2,960	千オーストラリア・ドル 3,013	千円 203,222	% 5.1	% -	% -	% -	% 5.1
トルコ	千トルコ・リラ 25,000	千トルコ・リラ 28,845	千円 482,013	12.0	-	-	3.4	8.6
メキシコ	千メキシコ・ペソ 96,600	千メキシコ・ペソ 96,567	千円 470,282	11.7	-	-	2.2	9.5
インド	千インド・ルピー 284,900	千インド・ルピー 288,258	千円 400,679	10.0	-	-	6.8	3.2
インドネシア	千インドネシア・ルピア 53,500,000	千インドネシア・ルピア 54,577,244	千円 392,956	9.8	-	-	6.5	3.3
ブラジル	千ブラジル・レアル 19,500	千ブラジル・レアル 21,757	千円 479,758	12.0	-	-	10.5	1.5
ロシア	千ロシア・ルーブル 353,000	千ロシア・ルーブル 361,411	千円 516,817	12.9	-	-	12.9	-
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 66,380	千南アフリカ・ランド 69,325	千円 440,908	11.0	-	-	7.1	3.9
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 17,162	千ポーランド・ズロチ 17,509	千円 470,311	11.7	-	-	2.1	9.6
合 計	-	-	千円 3,856,948	96.1	-	-	51.4	44.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	利 率	額 面 金 額	期 間		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)		%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
EIB 2.8 01/15/21	特 殊 債 券	2.8000	2,100	2,136	144,074	2021/01/15
IFC 5.75 07/28/20	特 殊 債 券	5.7500	860	877	59,148	2020/07/28
小 計	—	—	2,960	3,013	203,222	—
(トルコ)		%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	
EBRD 27.5 09/18/20	特 殊 債 券	27.5000	9,500	10,176	170,054	2020/09/18
EBRD 24.0 09/10/21	特 殊 債 券	24.0000	5,500	6,352	106,149	2021/09/10
EBRD 24.0 10/05/22	特 殊 債 券	24.0000	6,500	8,108	135,486	2022/10/05
IADB 26.5 10/25/21	特 殊 債 券	26.5000	3,500	4,208	70,322	2021/10/25
小 計	—	—	25,000	28,845	482,013	—
(メキシコ)		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
EIB 4.75 01/19/21	特 殊 債 券	4.7500	57,000	56,502	275,166	2021/01/19
EIB 7.625 01/12/22	特 殊 債 券	7.6250	21,500	22,095	107,604	2022/01/12
EIB 5.5 01/23/23	特 殊 債 券	5.5000	18,100	17,969	87,511	2023/01/23
小 計	—	—	96,600	96,567	470,282	—
(インド)		%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
IFC 6.45 08/10/20	特 殊 債 券	6.4500	34,900	35,044	48,712	2020/08/10
IADB 5.5 08/23/21	特 殊 債 券	5.5000	58,000	57,905	80,488	2021/08/23
ASIAN DEV BANK 5.9 12/20/22	特 殊 債 券	5.9000	192,000	195,308	271,478	2022/12/20
小 計	—	—	284,900	288,258	400,679	—
(インドネシア)		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	
IADB 7.875 03/14/23	特 殊 債 券	7.8750	7,500,000	7,862,437	56,609	2023/03/14
EBRD 7.5 05/15/22	特 殊 債 券	7.5000	19,000,000	19,443,650	139,994	2022/05/15
EBRD 8.3 10/02/20	特 殊 債 券	8.3000	18,000,000	18,183,978	130,924	2020/10/02
EBRD 6.45 12/13/22	特 殊 債 券	6.4500	9,000,000	9,087,179	65,427	2022/12/13
小 計	—	—	53,500,000	54,577,244	392,956	—
(ブラジル)		%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
IBRD 8.0 01/31/22	特 殊 債 券	8.0000	2,500	2,716	59,907	2022/01/31
IFC 8.25 01/30/23	特 殊 債 券	8.2500	15,500	17,416	384,032	2023/01/30
EIB 7.5 04/13/22	特 殊 債 券	7.5000	1,500	1,624	35,818	2022/04/13
小 計	—	—	19,500	21,757	479,758	—
(ロシア)		%	千ロシア・ルーブル	千ロシア・ルーブル	千円	
ASIAN DEV BANK 7.0 03/14/22	特 殊 債 券	7.0000	97,000	100,249	143,356	2022/03/14
IFC 5.5 03/20/23	特 殊 債 券	5.5000	80,000	81,096	115,967	2023/03/20
IFC 6.375 04/11/22	特 殊 債 券	6.3750	176,000	180,065	257,493	2022/04/11
小 計	—	—	353,000	361,411	516,817	—
(南アフリカ)		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
EIB 9.0 03/31/21	特 殊 債 券	9.0000	23,880	24,574	156,296	2021/03/31
EIB 8.375 07/29/22	特 殊 債 券	8.3750	42,500	44,750	284,612	2022/07/29
小 計	—	—	66,380	69,325	440,908	—
(ポーランド)		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
EIB 2.25 05/25/21	特 殊 債 券	2.2500	10,500	10,653	286,147	2021/05/25
EIB 3.0 05/24/24	特 殊 債 券	3.0000	3,000	3,191	85,726	2024/05/24
IBRD 1.5 07/31/20	特 殊 債 券	1.5000	3,662	3,664	98,437	2020/07/31
小 計	—	—	17,162	17,509	470,311	—
合 計	—	—	—	—	3,856,948	—

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 3,856,948	% 96.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	155,147	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	4,012,096	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、4,005,147千円、99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年3月9日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=67.44円、1トルコ・リラ=16.71円、1メキシコ・ペソ=4.87円、1インド・ルピー=1.39円、100インドネシア・ルピア=0.72円、1ブラジル・レアル=22.05円、1ロシア・ルーブル=1.43円、1南アフリカ・ランド=6.36円、1ポーランド・ズロチ=26.86円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年3月9日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,012,096,321円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,948,940
公 社 債(評価額)	3,856,948,998
未 収 利 息	125,292,830
前 払 費 用	22,905,553
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	4,012,096,321
元 本	3,864,701,804
次 期 繰 越 損 益 金	147,394,517
(D) 受 益 権 総 口 数	3,864,701,804口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,381円

(注1) 期首元本額 4,663,498,018円

追加設定元本額 819,045円

一部解約元本額 799,615,259円

(注2) 期末における元本の内訳

高金利通貨ファンド 3,855,683,390円

グローバル・ナビ 9,018,414円

期末元本合計 3,864,701,804円

■損益の状況

当期 自2019年3月9日 至2020年3月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	341,416,792円
受 取 利 息	341,426,065
支 払 利 息	△9,273
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△584,761,967
売 買 益	130,397,952
売 買 損	△715,159,919
(C) そ の 他 費 用	△740,874
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△244,086,049
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	494,254,352
(F) 解 約 差 損 益 金	△102,854,741
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	80,955
(H) 合 計(D+E+F+G)	147,394,517
次 期 繰 越 損 益 金(H)	147,394,517

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。